

不登校に悩む児童生徒のための教育支援センター（旧適応指導教室）

久喜市教育支援センター



～社会的自立に向けた不登校の改善を目指して～

久喜市教育委員会指導課

♡学校へ登校することが難しい状態の子どもたちが、小集団の仲間とのふれあいや様々な活動を通して、今の自分やこれからの自分を主体的に捉えて社会的に自立することを目指すところです。

♡学校との連絡や調整を行い、スムーズな学校復帰を支援します。学校はもとより、関係機関と連携して子どもたちや保護者を支援するネットワークづくりに努めます。

各教育支援センターの名称、所在地、連絡先

久喜地区

さくらフレンドルーム



青葉小学校内

久喜市青葉1-3-1 ☎25-2500

菖蒲地区

ポピーフレンドルーム



菖蒲総合支所5階

久喜市菖蒲町新堀38 ☎85-4334

栗橋地区

サルビアフレンドルーム



健康福祉センターくりむ内

久喜市間鎌255-1 ☎52-1314

鷺宮地区

コスモスフレンドルーム



鷺宮総合支所4階

久喜市鷺宮6-1-1 ☎58-1999

お願い
します

各フレンドルームの見学には予約が必要です。

お子さんの在籍する小中学校を通して予約してください。

問合せ先 フレンドルームについてのお問い合わせは在籍する小中学校または久喜市教育委員会指導課
担当指導主事（電話 0480-58-1111 内線345）をお願いします。

*各フレンドルームへの電話は9時～14時45分までをお願いします。

目指す姿

自分できめよう (自己決定)
自分でつたえよう (自己発信)
自分をしんじよう (自己信頼)



活動内容

相談活動 学習活動 体験活動

相談活動



ふれあいタイムや様々な活動を通して不安や悩みなどを解決できるよう対話を行います。心の安らぎと元気の回復を目指します。

学習活動



一人一人に応じた学習内容で教科の自主的学習に取り組みます。学習に対する不安の解消を目指します。

体験活動

制作活動やスポーツ、ゲーム、野外活動や調理実習などに取り組みます。深い学びにつなげ、仲間と活動する楽しさを実感しながらコミュニケーション力を高めます。

見学申し込みから通所までの流れ



- 1 見学の申し込みと日程の調整** 保護者の方から学校に見学の申し込みをします。
(見学希望日と時間をいくつか伝えてください。)
→学校は、指導課担当指導主事に連絡し日程調整を行います。
- 2 見学日時の決定と連絡** 学校は保護者の方に見学日時の連絡をします。
- 3 保護者と児童生徒で施設見学** 室内の見学と説明、面談を行います。(1時間程度)
- 4 体験(2週間程度)** 各フレンドルームと保護者・児童生徒で通所日を調整します。
保護者は体験希望の意思を学校に連絡してください。
- 5 通所願いの提出(正式通所)** 継続して通所を希望する場合は、保護者が学校に連絡します。学校から通所願をもらい、保護者が必要事項を記入して学校に提出します。
→学校は通所申請書を作成し指導課に提出します。
→教育委員会の承認が得られると学校を通して校長より保護者の方に通所通知書が交付されます。

通所について

1 開室日 学校の課業日と同じです。

1学期	4月 8日 ~	7月20日
2学期	8月28日 ~	12月24日
3学期	1月 8日 ~	3月26日

2 行き帰りについて 交通安全に十分注意してください。

*中学生は自転車使用可です。

大切な命を守るためヘルメットは必ず着用しましょう。

*小学生は保護者の方の送迎をお願いします。



3 日課表について 9時開室、14時45分閉室

*フレンドルームへの電話連絡は上記の時間内をお願いします。

*児童生徒に応じて計画を立て、無理のないよう支援します。

例1

1日の流れ(基本)	
9:00	開室
~ 9:30	来室
9:30~10:15	計画・自由時間
10:25~11:15	学習時間1
11:25~12:15	学習時間2
12:15~13:00	昼食・休み時間
13:00~13:50	学習時間3 (体験活動等)
13:50~14:00	振り返り・退室
14:45	閉室

例2

午前中だけ入室の場合の流れ(基本)	
9:00	開室
9:00~ 9:30	来室
9:30~10:00	語らいタイム(計画) マイタイム(自由時間)
10:00~10:40	学習タイム1
10:50~11:30	学習タイム2
11:35~12:00	ふれあいタイム (体験活動等)
12:00~12:10	振り返りタイム 退室

*学習は授業形式ではなく、児童生徒一人一人の計画による個別の自主学習を行い指導員が支援します。クロムブックも使用できます。



4 持ち物や服装について

○持ち物 筆記用具 教科書や問題集、ノート

(各自の計画に基づく教科学習に必要な教材を用意してください。)

読書用の本 水筒 *マスクは必要に応じて

※お弁当(必要な人) ※上履き(さくらフレンドルームのみ)

*細かいことは学校の決まりに準じます



○服装 普段着(活動しやすい安全なもの) *中学生は原則制服か体育着

5 スタッフについて 各フレンドルームに教員免許状を有する指導員が常駐しています。学校心理士の巡回支援があります。

保護者や学校との連携について

○学校との連携 フレンドルームでは、通所する児童生徒の態様に応じてその支援のために在籍校と緊密に連携をとります。

- 通所状況報告書による報告
毎月の通所状況（通所日や時間、学習や体験活動の内容や様子）を在籍校の校長先生に送付しています。
- 必要に応じて支援の進め方についての協議や、通所児童生徒や保護者を含めた面談等を実施します。
- 中学生については、学校と相談し定期テスト等をフレンドルームで実施することができます。

○保護者との連携 フレンドルームでは、通所する児童生徒の態様に応じてその支援のために保護者と緊密に連携をとります。

- 通所状況報告書（学校送付と同じもの）による報告
毎月の通所状況（通所日や時間、活動の内容や様子）を保護者に通知しています。
- 必要に応じて通所児童生徒の保護者に対して各々の態様に応じて面談を行い支援の進め方について一緒に考えます。

よくある質問 Q&A

Q1 フレンドルームに通所すると学校は出席扱いになると聞いたのですが？

通所児童生徒の出席状況は毎月在籍校に通所状況報告書で報告しています。出席扱いにするかどうかは校長先生の判断です。出席状況や活動状況を確認し、通知表や指導要録では出席扱いになります。

Q2 フレンドルームに通所するには費用がかかりますか？

通常の学習指導は無料です。通所に必要な交通費や昼食費は自己負担です。また、体験活動の内容によっては材料費等がかかる場合があります。

Q3 フレンドルームに通所すると学校と離れてしまいませんか？

一人一人の児童生徒の態様によりますが、基本的には学校復帰を目指して次のステップで支援します。

ステップ1 生活リズムを身につけよう（起床時間・通所時間・通所曜日の固定）

ステップ2 小さな集団の生活になれよう（あいさつ・会話・学習と休み時間のけじめ・ルールを守る）

ステップ3 少しずつ学校生活に目を向けよう（定期テストに挑戦・学校行事に参加(作品参加もあり)

*学校復帰後の事後支援も必要に応じて実施します。